

令和3年度広島県立呉特別支援学校センターだより



カメラリア
Camellia

第5号
令和4年1月21日発行

—カメラリアは、ツバキ科の植物の総称です。呉市民の花はつばきであり、本校校歌の歌詞にも含まれています。—

新しい年を迎え、厳しい寒さの中にも清々しさを感じます。新学期が始まり、学校の仕事や子供たちと向かい合う気持ちを新たにした先生方も多いと思います。

現在、中学校3年生の多くの生徒達は、次年度の進路先に向けた勉強をしていると思いますが、巡回相談先の先生から、「特別支援学校高等部に入学するためには、受検があるのですか?」といった質問を受けることがあります。そこで、今回の通信では、呉特別支援学校の高等部入学者選抜についてQ&Aの形式で御紹介します。

呉特別支援学校高等部入学者選抜Q&A

Q1 特別支援学校高等部に入学するためには、入学者選抜を受検する必要がありますか?



A1 必ず高等部入学者選抜を受検する必要があります。また、受検のためには、事前に本校の教育相談を受けておいていただくことが必要です。

Q2 療育手帳を持っていなくても特別支援学校(知的障害)を受検することは可能ですか。



A2 療育手帳のない生徒の出願資格の判断に当たっては、特別支援学校長が出願前に当該者の出願資格の有無を判断します(「令和4年度広島県立特別支援学校高等部入学者選抜実施要項」p.19 参照)。

令和4年度呉特別支援学校高等部入学まで

令和4年度呉特別支援学校高等部入学に向けた流れは次の図のとおりです。

夏季教育相談週間を主に利用して本校の教育相談を受ける。

各校から出願書類提出（一次募集 令和4年2月15日～2月18日正午 受付）
（二次募集 令和4年3月18日～3月22日正午 受付）

高等部入学者選抜（一次募集 令和4年3月7日実施）
（二次募集 令和4年3月23日実施）
合格者発表（一次募集 令和4年3月15日実施）
（二次募集 令和4年3月24日実施）

入学者説明会（令和4年3月下旬実施予定）

入学式（令和4年4月上旬実施予定）

子供への注意の仕方について

1 子供が注意を聞くことができるようにするために

巡回相談等で学校や園等に行かせていただいたときに、子供の気持ちが高ぶっているときに、先生がより大きな声で注意をして、子供の気持ちをさらに高ぶらせているといった様子を見かけることがあります。通常の大人でも、気持ちが高ぶっていると、周りから声を掛けられても素直に聞くことが難しい場合があります。発達障害や知的障害がある幼児児童生徒が気持ちを高ぶらせていると、先生の声に耳を傾けることはより難しいです。幼児児童生徒の気持ちをまずは落ち着かせることが大切です。そのためには、自分の気持ちを話すことが苦手な幼児児童生徒であれば、先生が気持ちを代弁しながら落ち着かせるようにしたり、クールダウンの部屋に移動して気持ちを落ち着かせたりすることが考えられます。気持ちが落ち着いてから、行動の振り返りや正しい行動について先生が指導すると効果的です。

2 子供の理解に応じた注意

子供に注意をするときに、先生方が伝えている内容を、本当に子供は理解しているでしょうか。知的障害のある幼児児童生徒の中には短期記憶が弱いために聞いた内容を覚えておくことが苦手であったり、先生が伝えている内容が理解できなかったりする場合があります。長い時間かけて伝えるのではなく、短時間でわかりやすく注意して、正しい行動を指導します。また必要に応じて、問題のあった場面を簡単なイラストで整理して伝えたり、写真で正しい行動を伝えたりすると、よりわかりやすく伝えることができます。



広島県立呉特別支援学校

担当者：専任教育相談主任（特別支援教育コーディネーター） 山田裕一

住所：呉市焼山北3丁目 22-1

TEL: (0823) 33-0300 FAX: (0823) 33-0308